

### ワーク・ライフ・バランスの実現への取り組みは、 多種多様な生き方を認め合うことから始まります。

ワーク・ライフ・バランスを実現すると、働き方が同一であった時と比べ、一緒に働く時間が少なくなった分、意思疎通の機会が減ったり、チームの一体感がとりにくくなったり、いくつかの問題が発生します。また、仕事を第一主義としてとらえてきた多くの管理職にとって、ワーク・ライフ・バランスを実現させることは、認め難い価値観だったり、子育て世代や親の介護が必要な社員にいたっては、休みをとることで将来的なリスクを背負うのではないかなどという不安が生まれてきたりします。

では、それぞれの立場の現実を見てみましょう。



多様な環境



多様な考え方



多様な価値観



多様な意見



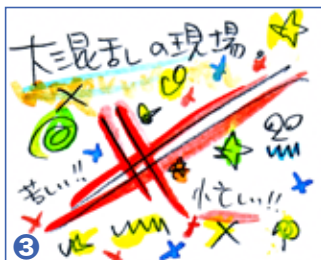
### 管理職の複雑な悩み



ワーク・ライフ・バランスを導入しろ!と言われても、はて?なんのことだか。



毎日忙しく、目標達成に向け社員一丸となって頑張る日々。ところが部下が、ある日突然、休暇申請を!!



休暇は認めたが、仕事の分担や引き継ぎもままならず、不平不満の声!! このままではチーム崩壊だ。



ワーク・ライフ・バランスの導入は素晴らしい。会社の将来のためにも不可欠だ。でも、でも、でも...

### 育児のために休みをとるべきか、とらざるべきか。



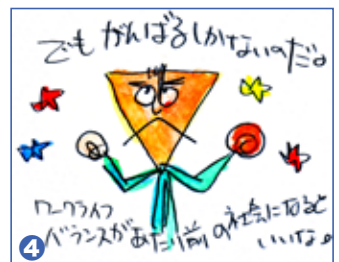
私には仕事も家庭も大事です。夫と妻が協力しあって、子供の成長を楽しめる家庭にしていきたい。



ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランスという言葉をよく耳にするけれど、実際うちの職場はどうか?



勇者は決断した!おもいきって休みをとることに。でも、周囲の人たちの反応は多種多様。複雑だなあ。



とはいえ、一生懸命やっていくしかないのだ。仕事も家庭も両方大切に、両方全力で臨みたいから。

### この上、彼にお休みされては社員一同、とほほでギブアップ。



とにかく毎日忙しい。残業を減らすようにと上司から指示があったが、現状無理。絶対に無理!!



職場の同僚が休むことになった。一人でも欠けたら破綻なのに、私たち、どうすればいいんですか?



一人いない状態で、これまで以上の成果を求められるのは、あまりにご無体な!!



この忙しさも不思議と慣れ、なんとかしのいでいる。しかし、多くの犠牲の上で成り立っているのですよ。